

# 同 志 社 大 学

## 2015 年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2016 年 3 月 10 日提出

所 属	職 名	氏 名
政策学部	准教授	根岸 祥子
研 究 題 目	金融危機の連鎖と contagion 効果に関する分析	
研 究 成 果 の 概 要	<p>本研究は、一連の通貨・金融危機の発生メカニズムを分析し、contagion 現象について検証を行うことを目的としている。したがって、危機前後の投資家の対リスク心理 (investor sentiment) の変化を明らかにすることにより、市場への影響を最小限に止める政策手段と金融システムの制度設計について考察を行っている。これまで、世界銀行や民間の基礎資料をもとに作成したデータベースに基づき、危機の発生要因に関する分析を行ってきた。その結果、危機の連鎖ともいべき現状は、情報の不完全性による市場心理の変化と、その結果としての資本フローの劇的な転換といった要因が大きく影響していることがわかった。さらに、統計資料収集作業において未完の部分について続行すると同時に、関連著書・論文を参考にした上で、金融市場の変容パターンを実証的に分析する試みを行なっている。また、制度・政策面の現状理解を深めるため、関係各所の実務グループからヒアリング調査を行ってきた。これらをもとに、有効な危機への対応策の提言に結び付けるため、2016 年 3 月 22～23 日に開催される OECD/ADBI 主催の金融市場改革に関する専門家会議において議論を進める予定である。</p>	